

令和4年度

～ 子どもは地域で育つ
地域は子どもで結ばれる ～

おしかけふれあい塾 No.14

地域総がかいで子どもを育てる

「大正琴の演奏は難しかったけど楽しかったよ」

12月 2日（金）向津貝小学校
14:10～14:55

～ 琴凌流 愛春会 ～

向津貝小学校の1,2,4年生全7名の子どもたちが琴凌流愛春会の4名の皆様に、大正琴を学びました。愛春会の皆様、ご多用の中、ご指導いただきありがとうございました。

最初に、愛春会の皆さんによる模範演奏を3曲「ふるさと」「夕焼け小焼け」「上を向いて歩こう」聴きました。子どもたちは「知っている」「聴いたことがある」など嬉しそうに話していました。その次に、実際に大正琴の演奏の仕方を4つのグループに分かれて教えていただきました。子どもたちが挑戦した曲は「ちょうちょ」と「チューリップ」「ひのまる」などで、いくつか用意していただいた楽譜を自分の興味やレベルに合わせて選び、全員が満足そうに演奏していました。丁寧に教えていただいたお陰で、子どもたちは次第に上手に演奏ができるようになりました。短い時間ではありましたが、大正琴の魅力をしっかりと味わい、日本の伝統文化にふれることができました。



右手と左手で違うことをするので難しかった。

ギターの音によく似ていた。

小さな楽器からきれいな音が出るから驚いた。

いろんな曲が弾けて楽しかった。

きれいな音が響いて大正琴が好きになりました。（参加した子どもたちの感想より）

